

小林淳子

夜空を覆うもの

文明という灯りがまぶしすぎて
時代という怪物をはこぶ時間が速すぎて
世界はこんなにギラギラして
夜空のキラキラは覆いかくされた

だからなのか
だから

わたしの内なる世界が
空よりも広いことを
忘れてしまったのか
だからなのか
星のようにかがやく
託されたいのちの光を
忘れてしまったのか

空が彼方とおく
遠くとおく
ぶつつづきの遠くまで
続いていることを忘れたから
自分がこんなにも
大きく見えてしまうのか

星という目印が
必要だったんじゃないのか
生きるという大海原を漕ぐには
星をみあげ
じぶんを小さくおもうことが